

2023年11月の環境活動報告

環境に大きな影響を及ぼす 食品ロス

食品ロスのそのあとは、
 生ごみ焼却 → 資源やエネルギーを使う → 温室効果ガスも発生

ごみ焼却大国である日本では、特に影響が大きい
 ごみ焼却場数・焼却ごみ量の割合は、世界一だそうです。。

当社グループ工場のあるお隣 韓国の取り組みを紹介します

韓国の食文化は、小皿に入った副菜がたくさん添えられるため、食べ残しが多いですが、その食べ残しは長年、すべて地中に埋められていました。

2005年以降、食品廃棄物を埋め立て地に送ることは違法になりました。

現在、生ごみ処理は従量課金制度になっており、消費者、レストラン経営者、トラック運転手らが食品廃棄物を収集し、有用なモノに変換するネットワークを構成しています。

生ごみリサイクル率

日本・・・6%

韓国・・・95%以上! すごいですね

どんなものになるの?

動物の飼料
 たんぱく質と繊維質が豊富で、鶏やアヒルの栄養補助餌になる。



農業の肥料
 良質の有機質肥料になる。



バイオガス
 家庭用暖房の燃料に販売される。



リサイクル先は、特別なものではなく、
 そこに至るまでの国の取り組み、仕組み、義務化することが大変です。
 日本でも少しずつ生ごみ焼却ゼロへの取り組みが広がってきています。
個人個人の意識が大切!
まずは生ごみを減らす、捨てる時はリサイクルを意識しましょう。

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電大臣	消費電力の削減	1,134 kwh/月	1,477 kwh	76.8%	未達成	電気未達成 「電気使用量」 2022年時： 915kwh[1.61倍]
節水大臣	水道使用量削減	8.050 m ³ /月	6.942 m ³	116.0%	達成	
ごみ処理大臣	可燃ゴミ削減	22.80 Kg/月	7.77 Kg	293.4%	達成	
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進	75 %/月	85.7 %	114.3%	達成	
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	3 件/月	9 件	300.0%	達成	